

いきいき 元気に活動中

ダイハツ車月会

滋賀支部幹事 田淵 博志

滋賀支部の活動は会員と家族を対象にして、グランドゴルフ年5回、バスツアー、ゴルフ、カラオケ、総会親睦会、幹事会(月1回30名)等を通じて会員相互の交流親睦を図っています。このような活動を行うことで、年間約1000人超の延べ人数参加を得ています。また、個人の活動ではイグザス表彰と言う制度があり、会員がそれぞれの地域で活動貢献されていることに関して、いろいろな角度で評価し、顕彰表彰されます。

さて、今回の「いきいき活動中」は退職後9年を経た甲南町在住会員の活動を紹介します。



「手作り玩具で出前ボランティア」をしている甲南町 品本 文氏

私は趣味として、定年後に木工品造りを思い立ちさまざまな玩具作りに取り組みましたが、独学で始めたため、当初は失敗作ばかりでしたが、現在は人に見せられる作品が60点以上になりました。

その中身は「出世独楽」「昇り玩具」「パズル」「竹紐細工」「からくり玩具」「魔方陣」などです。特に面白いのは出世独楽で、回転中に逆立ちします。

これらの玩具を地域の子供会やイベントなどで披露し、喜んでもらっていますが、こうしたことを東日本大震災での被災者に届けようと決心し、マイカーに玩具1式を積込んで5月28日に出発しました。行き先は予め役場で紹介していただいた福島県郡山市のビッグパレットでした。この避難所



〔玩具で遊ぶ子供たち〕

には富岡町や川内村の方々約1500人がおられました。私はボランティア受付で登録したところ、職員の方が早速マイクを使って滋賀県甲賀市から玩具を持参したことを紹介いただき、子供たちに集合を呼び掛けてもらいました。

この途中に、この地で応援作業をしておられる甲賀市、湖南市、彦根市の職員さんたちも出てこられてエールをいただきました。こうして集まってこられた子供や大人の方々に玩具の扱いや操り方、遊び方などを教え、延べ約150人に楽しんでもらいました。こうしたなかで大人の方からは何度も「遠方よりご苦労さんありがとう」の言葉を、子供さんからは笑顔をいただき、私は来た甲斐があったと嬉しくなりました。

次の日は150人の会津若松市の避難所を訪問し、玩具遊びを教え楽しんでもらいました。印象に残ったのは、お年寄りが「時間はかかりますがこの出世独楽のように、途中苦しいことがあっても何とか立ち上がりたい、応援して下さい」と涙ぐまれていたことです。私は、機会があればまた来ますと勇気づけましたが、避難者の皆さんは避難所生活が長期化することで、生活の疲労とストレスが見られ、胸が締め付けられる思いでした。

1泊2日の短期間強行の出前ボランティアでしたがほんの1粒程度役にたったと思います。こうしたことを地域でも、どこでも実践することが今後の私の課題と認識した1500kmでした。

リフレッシュ 滋賀

第35号 2011.10.31
発行所:連合滋賀 高退協
発行責任者:吉川 浩次
編集責任者:山崎 長榮
大津市松本2丁目10-6
TEL 077-523-0500
FAX 077-523-5600

東日本大震災を踏まえて 滋賀県の原子力安全対策について学習!

「2011滋賀県高齢者集会」を開催

連合滋賀 高退協「2011滋賀県高齢者集会」を10月8日(土)に滋賀ビル「かすが」にて加盟組織から86名の参加者で開催いたしました。

冒頭連合滋賀松元事務局長から連合の原子力にたいする関わり方等の説明含め挨拶がありました。

今回の研修は、3月11日に発生した東日本大震災をふまえて、滋賀県防災危機管理局の原子力防災担当「田中 弘明 主席参事」から滋賀県の原子力安全対策について、講演をしていただきました。東日本大震災の被災地状況については毎日のように情報が流れていますが、その内容の一部は専門



〔講演を真剣に聞き入る参加者〕

用語等で普段聞き慣れていないことから、理解しにくい部分がありましたが、今回の講演ではその用語等をわかりやすく説明されたので理解することができました。

また、近隣で発生していたらと仮定した場合の被災状況など推測の範囲ではあるが、滋賀県で住んでいる我々がどの様な状況にあって、どの様な意識で安全対策を行うべきか知ることが出来ました。

今後の防災対策につながる大変良いものだったと感じました。また、そのあとの懇親会では、にぎやかに組織内外の交流を行う事が出来ました。



〔来賓あいさつをする連合滋賀松元事務局長〕

台風にも負けず! 99名が熱戦を展開! 第4回グラウンドゴルフ大会を開催



〔主催者あいさつをされる吉川会長〕

連合滋賀 高退協第4回グラウンドゴルフ大会（後援：連合滋賀、労福協、近畿労働金庫、全労済、住宅生協）を9月2日（金）に竜王町総合運動公園・ドラゴンハットで開催しました。

当日は台風の影響で朝から雨模様の天候でしたが、若干風は強いものの、屋根付きグラウンド「ドラゴンハット」でもあり、なんとか開催することが出来ました。開会式では主催者を代表して吉川会長が挨拶をされ、総勢99名が和気あいあいに一喜一憂しつつプレーを楽しみました。プレーの結果は、高退協の会員の皆さんの日頃の練習の成果と、実力を存分



〔開会式での参加者の皆さん〕

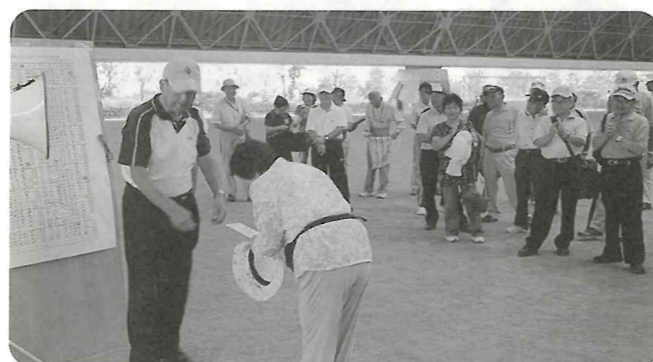


〔グラウンドゴルフプレー風景〕

に発揮されたこともあり、30名が「ホールインワン賞」を獲得されました。

このグラウンドゴルフ大会は今年で4回目を迎え、高退協の恒例行事となっており、会員の方々が楽しみにされている行事の一つとなっています。今回参加された皆さんは「来年も元気で参加できるように」と確認をしながら終え会場を後にされていました。

最後に今年も後援を頂いた各事業団体をはじめ、関係者、参加者の皆さんの協力を得て成功裏に大会を終えることができましたこと、感謝申し上げます。



〔表彰式で表彰を受ける女子選手〕

【連合滋賀 高退協 第4回グラウンドゴルフ大会結果】

【男子の部】得点が同数の場合は、①ホールインワンの数、②2打の数が多し順に上位となる

順位	氏名	合計	ホールインワン数	得点	所属名
1	角竹 憲昭	80	1	77	ダイハツ皐月会
2	久保 勇	81	1	78	NTT労組退職者の会
3	山際 秋夫	85	2	79	UIゼンセンシニア友の会
4	増田 忠士	82	1	79	ダイハツ皐月会
5	唐鎌 春男	80	0	80	UIゼンセンシニア友の会

【女子の部】

順位	氏名	合計	ホールインワン数	得点	所属名
1	山口 久子	84	0	84	NTT労組退職者の会
2	真野 通子	84	0	84	NTT労組退職者の会
3	岡田 やす恵	89	1	86	NTT労組退職者の会
4	中村 和子	91	1	88	NTT労組退職者の会
5	脇阪 民子	97	0	97	全印刷局労組退職者の会

*ホールインワン賞 30名（男性28名、女性2名）

コラム



農林水産省
滋賀県退職者の会

小島 重夫

【野田政権への期待】

農水省退職者の会は、非現業国家公務員退職者の中では唯一の全国組織であり、全国の主として、農村地域に会員が散らばっています。

会の基本は“現退一致”即ち現職と退職者が連携を密にして諸課題の前進に向

けて取り組むと云う事です。

しかし、最近の農業をとりまく情勢は、食糧の6割を輸入に頼っていることから国内自給率を上げることが国民から強く求められている一方で、生産現場では高齢化が進み農業の担い手が減って農村は疲弊してきています。農業の活性化は何といても国の政策が必要です。

永年続いた自民党政権が行き詰り、代わった民主党政権に期待されていますが、衆参のねじれ現象の中で民主党の看板政策の1つである“個別所得保障政策”も見直しを迫られています。相次ぐ自然災害や放射能の影響は、農林水産の一次産業が一番被害を多く受けます。

「国民の生活が第1」という民主党、野田政権が、こうした課題にどう取り組むか。農村社会に住む私達も大いに関心をもって見守りたいと思います。